

6) 県内の特徴的な動き(平成18年度)

(1) 県基幹種雄牛「第1花園」を父とする肥育牛の全国三大枝肉共励会制覇

平成18年10月27日に東京食肉市場で開催された「平成18年度全国肉用牛枝肉共励会」において、全国27都道府県から430頭の出品牛の中から、三沢市高橋健仁さんが生産し、茨城県の業者が肥育した、県基幹種雄牛「第1花園」を父とする肥育牛が、名誉賞(チャンピオン)を受賞した。販売価格は、733万円となり、通常価格100万円の7倍以上の値を付けての受賞となった。

この結果、「第1花園」産子は、平成15年度に全農肉牛枝肉共励会、平成17年度に全日本枝肉コンクールでそれぞれ名誉賞を受賞しているため、全国規模の三大枝肉共励会を全て制覇するに至った。

「第1花園」についてはP45を参照

「第1花園」の受賞歴

三大枝肉共励会	年度	子牛生産者	肥育者	成績	販売価格
全農肉牛枝肉共励会	15	三沢市 高橋健仁	五戸町 沼沢邦夫	名誉賞 (1位/200頭)	380万円
全日本牛枝肉 コンクール	17	東北町 小笠原吉助	北海道 肥育農家	名誉賞 (1位/155頭)	488万円
全国肉用牛枝肉共励会	18	三沢市 高橋健仁	茨城県 肥育農家	名誉賞 (1位/430頭)	733万円



最高位の名誉賞を受賞した「第1花園」産子の枝肉



枝肉の断面

(2) 有機を目指した日本短角種の牛肉生産（青い森の元気牛）

青森県七戸畜産農業協同組合が日本短角種を活用して、農薬や化学肥料を使用せずに生産した飼料だけで育てた「青い森の元気牛」は、平成17年12月から出荷が始まっている。

18年は、都内某百貨店の夏のギフトの主要商品として取り扱われ、販売実績は目標数量を大きく上回った（目標200セット 実績350セット）。また、平成18年11月に開催された同店の青森フェアでは、「高級赤身肉」と位置づけられ、好評を得たことから、現在冬期間の限定商品として販売されている。



広々とした放牧地



自給のトウモロコシ

(3) 青森県の地鶏「青森シャモロック」の生産拡大

青森県畜産試験場養鶏部で誕生した地鶏、「青森シャモロック」（横斑シャモ×速羽性横斑プリマスロック）は、濃厚なダシや肉のきめ細かさにおいて評価が高く、宮内庁にも供給しているが、生産農場の新規参入が建設業などの異業種からも相次いでおり、生産羽数が増加しているほか、県内（八戸市）において専門の料理店がオープンするなど、販売ルートも拡大している。

「青森シャモロック」の生産状況

（単位：羽）

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度(見込)
生産羽数	13,000	16,000	24,000	30,000	50,000
うち宮内庁御料牧場へ	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

「青森シャモロック」の農場指定状況

地域	市 町 村	農場数
中 南	弘前市、大鰐町、（黒石市）	3 農場（1 農場）
三 八	五戸町、田子町、（五戸町）	4 農場（1 農場）
上 北	十和田市、六戸町	8 農場
西 北	（五所川原市）、（つがる市）	2 農場（2 農場）
計		17 農場（4 農場）

（ ）は18年度新たに指定される予定の農場で内数

【指定農場】

「青森シャモロック」ブランド化推進協議会が指定

【指定条件】

- ・飼育管理マニュアルに沿った管理
- ・家畜伝染病の防疫に配慮した傾斜での管理
- ・生産状況の飼育日誌への記帳と保管 等



青森シャモロック